

事業計画（アクションプラン）成果報告

チーム名称 労働環境改善チーム

メンバー 阪本、吉谷、井上、鳥山、北川、下之園

1. チーム目標

職場内への職員アンケートを実施し、その結果を踏まえて事業所の視察を行う。関係する所管部門と連携し、法人全体の課題を抽出し、課題に対する改善案を公表する。

2. 目標達成に対する課題の要因分析

・人材育成や人材確保に繋がる職員の雇用環境や労働環境の改善を希望する声が上がった。
・職員が定着しない
・令和5年4月～2月 退職者11名
・令和5年4月～2月 退職者の内、4月以降入職及び人事異動後退職者2名

3. 課題解決及び目標達成に向けて実行したこと

目標達成までに解決すべき事項		準備段階	実施段階	評価段階
		4月～5月	6月～7月	8月～9月
①	アンケートを実施し、職員からの改善要望を確認	・アンケート用紙の作成、実施方法を検討する。 ・5月23日～6月10日の期間で「職場環境に関するアンケート」としてWEB上の職員ホームページ、もしくはQRコード読み取りで実施する。	・令和6年5月1日時点の在職者(正規職員および契約職員)を調査対象者としてアンケートを実施	・アンケート回収結果:181/265名 回収率:68.3% ・アンケートの課題抽出と実践可能な改善策の検討
②	事業所視察を行って実際の職場環境の確認と職員の声を聴く	・事業所視察チェック表の作成 ・アンケート結果を踏まえて事業所視察実施方法の検討	・事業所視察を各事業所管理者と日程(訪問視察時間)調整 ・視察エリアを荒牧、ワーク・テラス、いきプラ、サテライト、なかの、ケアハイツ、ラスタの7エリアに区分し委員2名体制で各事業所視察実施	・各委員の視察報告から課題を「職場環境」「人事」「業務の効率化」「福利厚生」等に区分し実践可能な改善策を検討

4. 目標達成により得られる効果

①ウォーターサーバーの設置(福利厚生)
事業所アンケートと現場視察を経て、夏場の水分補給のためペットボトルを配給しているが不足ウォーターサーバーを設置してほしいとの声が多く挙がった。チーム内で最適な設置場所について検討を重ね、今後導入に向けて事務局と調整予定。

②稲野・鴻池地域包括 事務所スペースの確保改善(職場環境)
事務所内の広さが約10㎡程度で、席と壁の間を職員1人が通れないレベルであったが、現場調整を重ね、パーティション(壁)の位置をずらす案を提案。スペースの確保という職場環境の改善を行なうことで職員のモチベーションアップになることで労働意欲の向上に繋げることができた。(右図のとおり)

③報告書の作成
アンケート調査、視察結果についての回答書としてフィードバックできる成果物作成。(別添のとおり)

5. 今後の展開等について（プランの持続性、職員等法人に対し引き続き得られる効果）

事業所視察とアンケートを行うことで見える化することができた。この見える化した内容をもとにこの労働環境改善チームに入り、改善に関わることで職員の意欲の向上に繋がると考えます。

6. 自己評価

事業団全体に向けてのアンケート及び事業所視察を行なうことで様々な問題点を知ることができた事は、一職員にとって大変貴重な経験だったと思う。ただ、アンケート内容の幅が広すぎたことによって、今年度中に改善できた内容が規模の小さい内容のみとなったことは反省すべき点であると考えている。